

中学校「チャレンジテスト」廃止・撤回を求める意見書（案）

大阪府教育委員会は、6月23日に中学校「チャレンジテスト」を中学3年生に実施し、その結果は来春の高校入試の調査書評定に利用されます。

また、中学1・2年生も、来年1月実施の「チャレンジテスト」の結果で評定された内申点が高校入試に利用されることが決まっています。

たった1回の民間事業者による「チャレンジテスト」によって各中学校が格差づけられ不公平な入試になること、各学校が責任をもって日常の学習成果をもとにつけた絶対評価の評定が否定され高校入試における内申書の意味がなくなること、子どもたちを中学1年から高校入試に駆り立て中学校教育を大きくゆがめることなど、中学生や保護者、学校現場に大きな混乱をもたらしています。

よって、大阪府教育委員会におかれては、この趣旨を重く受け止め、「チャレンジテスト」を廃止・撤回することを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

2016年11月 日

摂津市議会

（日本共産党提出）